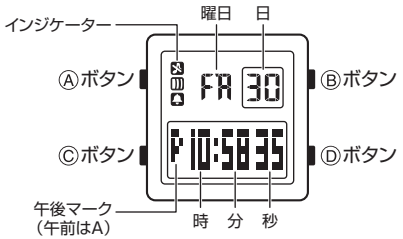
Operation Guide 3038

CASIO

本書にはマジック機能の説明は記載しておりませんのでご了承ください。

表示の見方

通常（時刻モード）、時刻とカレンダーを表示します。

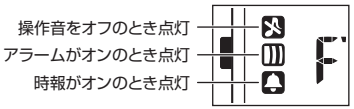


〈曜日の見方〉

SU：日	MO：月	TU：火
WE：水	TH：木	FR：金
SA：土		

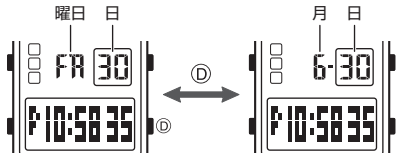
●インジケーターの見方

※マジック中はインジケーターは点灯しません。



●表示切替え

Ⓓ ボタンを押すごとに、上段の表示が切り替わります。

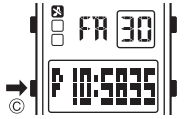


●操作音のオン／オフ

モード切替え時などに鳴る操作音を鳴らなくすることができます。
セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも

Ⓒ ボタンを約３秒間押します

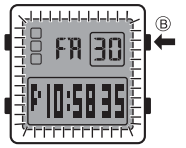
➡確認音が鳴り、操作音のオン／オフが切り替わります。



※ 操作音をOFF にしているときは、マークが点灯します。
※ Ⓒ ボタンを押したときに、モードも切り替わりますので、ご注意ください。
※ 操作音が OFF でも、アラーム音、時報音は鳴ります。

ライト点灯について

マジックモードと各セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、Ⓑ ボタンを押すと、ライトが点灯します。
➡暗いところでも、表示を見ることができます。

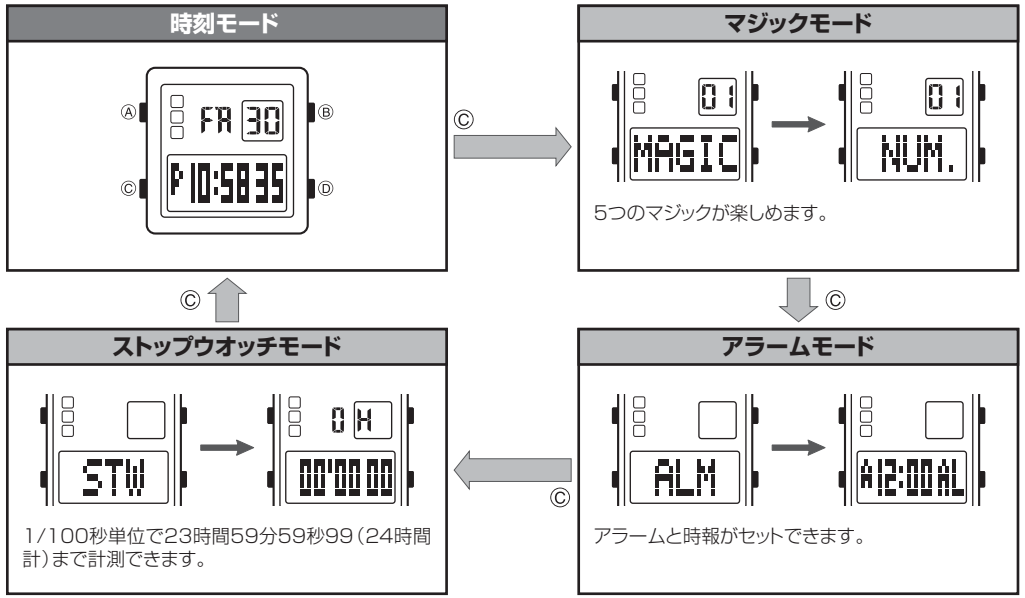


ご注意

- 直射日光下では、ライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中にⒷボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどの電子音が鳴ると、点灯を中断します。
- ライト点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

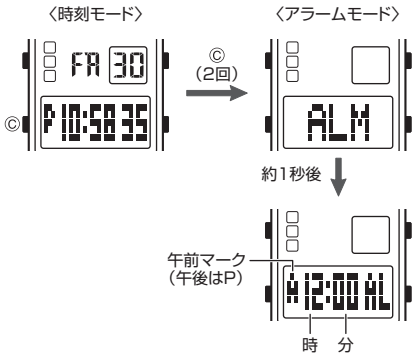
モード切替え

Ⓒ ボタンを押すごとに以下の順でモードが切り替わります。



アラーム・時報の使い方

時刻モードのときにⓒ ボタンを２回押してアラームモードにします。



〈アラームモードでは〉

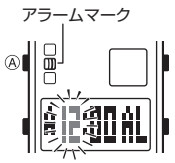
- アラーム時刻をセットでき、セットした時刻になると10秒間電子音が鳴ります。
- 毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

■アラーム時刻のセット

❶ セット状態にする

アラームモードのとき

Ⓐ ボタンを約１秒間押します

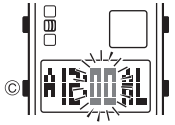


➡「時」が点滅します。

※ アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。

❷ セット箇所を選ぶ

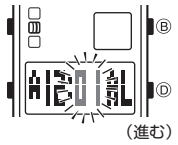
Ⓒ ボタンを押します



➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」⇔「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。

❸ 点滅箇所をセットする

Ⓓ ボタンまたは Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

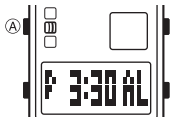
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

手順2.～3.の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

※「時」のセットのとき、午前（A）／午後（P）、または24時間制にご注意ください。

❹ セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します



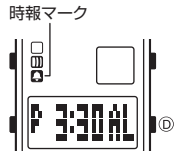
➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■アラーム・時報のON／OFF設定

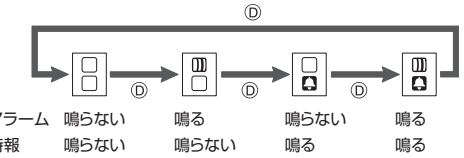
アラームモードのとき

Ⓓ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとにアラームマークと時報マークが点灯／消灯を繰り返します。

※ それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。

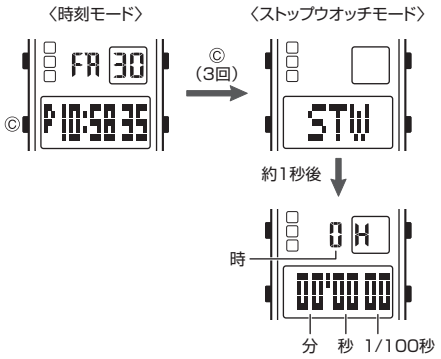


●鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

ストップウオッチの使い方

時刻モードのときにⓒ ボタンを３回押してストップウオッチモードにします。



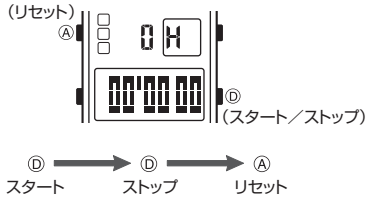
〈ストップウオッチモードでは〉

- 1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測の仕方

ストップウオッチモードのとき

- Ⓓ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
- 計測がストップしているときにⒶボタンを押すと計測値が0に戻ります（リセット）。



＜積算計測＞

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

時刻・カレンダーの合わせ方

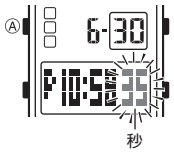
電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。
※以下の操作は時刻モードで行ないます。

■「秒」合わせ…30秒以内の遅れ／進みの修正

1 セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

➡「秒」が点滅します。

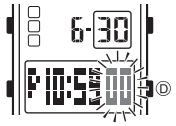


2 秒合わせをする

時報に合わせて

Ⓒ ボタンを押します

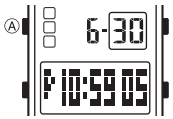
➡秒が「00秒」からスタートします。
※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは 1 分繰り上がって「00秒」になります。



3 セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります



月に 1 度くらい「秒合わせ」をすると、時刻はいつも正確です。

4 セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

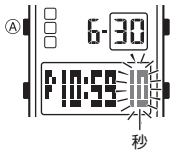


■時刻・カレンダーのセット

1 セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

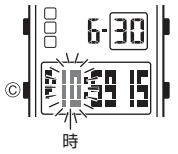
➡「秒」が点滅します。

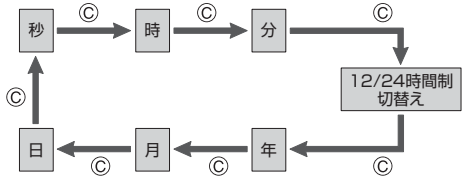


2 セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

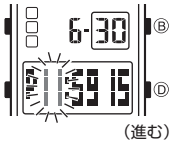




3 点滅箇所をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



手順 2.～3. の操作を繰り返して、時刻・カレンダーをセットします。

※「時」のセットのとき、午前（A）／午後（P）、または 24 時間制にご注意ください。
※ 12/24 時間制切替えは、Ⓓ ボタンを押すごとに 12 時間制表示（12H）と 24 時間制表示（24H）が切り替わります。
※「年」は2000～2099年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。